

株式会社くふうカンパニー
2020年9月期 第3四半期決算説明会 質疑応答の要約

2020年8月12日

2020年8月12日に開催いたしました2020年9月期 第3四半期連結決算説明会(オンライン開催)において、いただいた質疑応答の要約を掲載します。

当社出席者:代表取締役 堀口 育代、代表取締役 新野 将司
取締役CFO 菅間 淳、取締役会長 穂田 誉輝

・質問1: 中計を含めた会社の今後の方向性について、お考えをお聞かせ下さい。

>回答者:穂田

弊社グループは、コロナが事業進捗に大きな影響を及ぼしています。結婚関連事業領域を収益拡大のドライバーとしておりましたが、コロナの影響で、従来の結婚式を延期せざるを得ない状況が続くとみており、これまでの式場中心から別の事業へ転換せざるを得ません。

ピンチではありますが、ユーザーの生活様式が変わることはチャンスとみています。現況を受けて当社グループとして取り組むべきことは、「接触」を避けた上で、「お客様満足度が高いサービスを提供する」ということです。既存の結婚式では飽き足らない、もっと面白い結婚式があれば挙げる人もいるはずです。

「みんなのウェディング」という強力なメディアで、新しい結婚式について発信できることも、当社グループの強みと考えております。また、結婚式の開催に関しても、お客様満足度を高めるノウハウが蓄積されています。これらの「メディア+サービス」の力で、結婚における圧倒的なシェアの獲得を目指します。

不動産事業領域に関しても、コロナ禍における変化する住宅事情のニーズを的確に捉えて、メディア+サービスの力で、世の中を変えるサービスを創出したいと考えております。

過去、オンラインを避けていた方々も、今回の環境変化は、オンラインシフトへの変化を避けて通れない状況です。メディア+サービスを提供する当社グループの強みを活かせるタイミングに差し掛かっていると考えておりますので、状況変化を的確に捉えて、新たなサービスを創出し、2年後、3年後に、業界のリーディングカンパニーとなれる企業を目指したいと考えております。

以上